

平成 29 年 10 月 5 日

## 【日本財団「わがまち基金」を活用した地方創生支援スキーム】

### 地方創生推進事業「巡リズム」進化による「アクティブシニアの生きがい就労促進」

枚方信用金庫（大阪府枚方市：理事長 吉野敬昌）は、公益財団法人日本財団（東京都港区：会長 笹川陽平）の「わがまち基金」の助成金を活用し、「アクティブシニアの生きがい就労促進事業」に取り組めます。

当金庫は地方創生の取組として、空き家対策で「近居・住み替え促進事業（愛称：巡リズム）」、「創業支援」、企業が有する不稼働資産・設備のマッチングなどの「産業活性化の取組（愛称：育みリズム）」の3つの取組を推進しております。本事業は、それぞれ個別の事業であり対象顧客も別々でありましたが、これらの3つの事業を組み合わせることで、もう1つの新たな事業展開を取組実施することとなりましたのでお知らせします。

#### <事業内容>

1、事業名称 地方創生促進事業「巡リズム」進化による  
「アクティブシニアの生きがい就労促進」

#### 2、事業目的

当金庫主要営業エリアである北河内7市、とりわけ枚方市周辺には、高度成長期に大手企業等で働く世代が優良な住環境を求めて流入して街が形成されましたが、昨今は子世代の流出が止まらない一方で子育て世代の流入は減少しており高齢化が着実に進んでいます。また門真市、守口市、大東市を中心に盛んであった製造業は年々縮小しています。地域全体で「まち・ひと・しごと」を活性化する取組みが大きな課題となっています。

しかし、経験豊富でスキルの高い大手企業OBを単に高齢者として見るのではなく、地域の人材として捉えて彼らに“アクティブシニア※”として今度は地域企業の課題解決に取り組んで戴くことでシニアの活躍の場を創出できます。アクティブシニアの活躍により地域企業が活性化すれば、活気のある持続可能な健康長寿社会形成の一助になることが期待されます。

当金庫は企業の課題解決に外部支援機関と連携した取組を進めていますが、更にアクティブシニアに活躍戴くことで取引先との信頼関係を深めて本業につなげていきます。

\*アクティブシニアとは、企業等を退職された方や近く退職を予定している方で、豊富な実務経験、専門知識、人的ネットワークなどを活かした支援を行い地域・中小企業の活性化に貢献することを目的に、当金庫が設立する“アクティブシニアの会”に会員登録戴いた方々

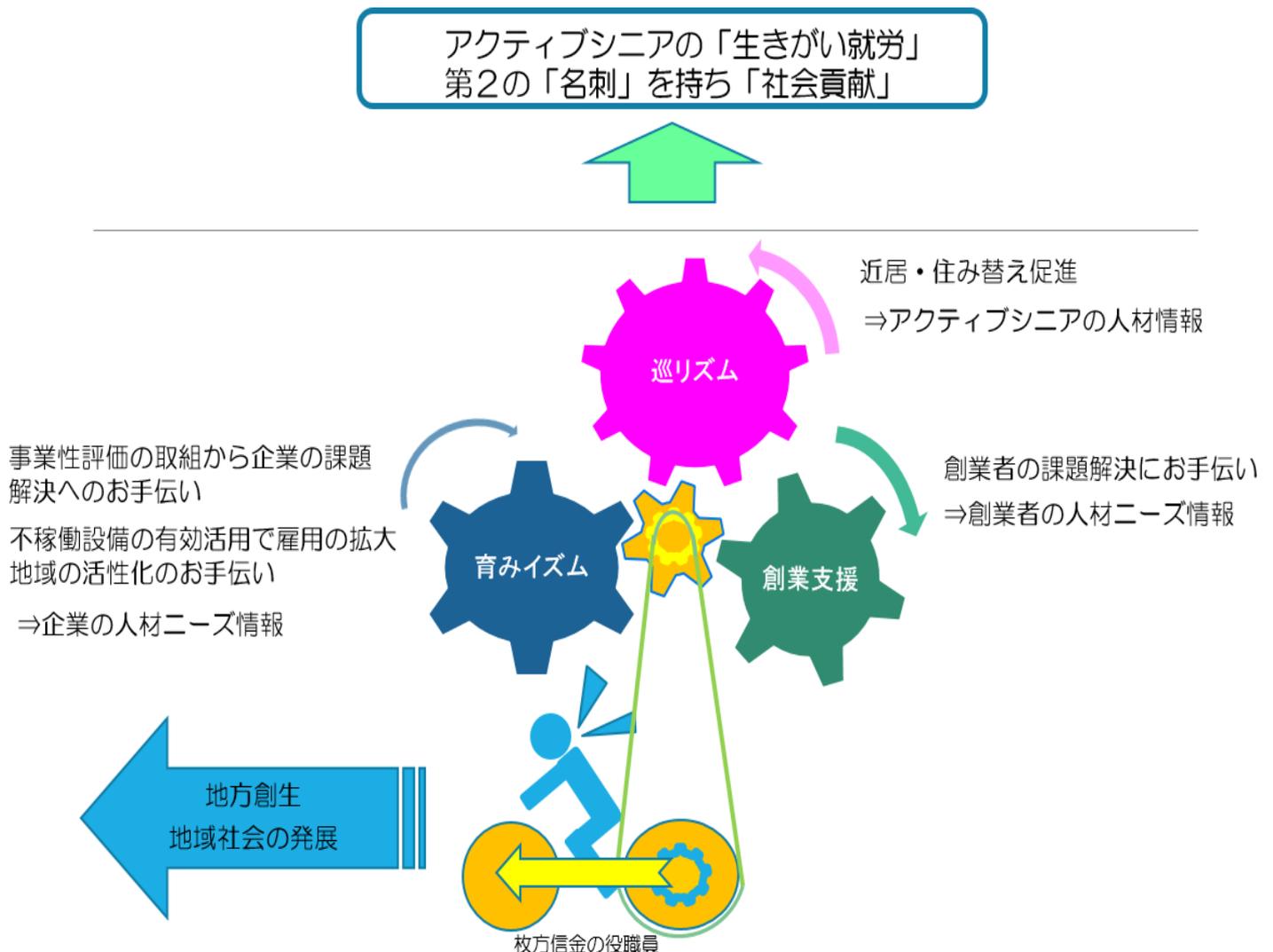
### 3、「わがまち基金」の概要

『日本財団「わがまち基金」を活用した地方創生支援スキーム』は、地方創生の推進に向け、地域の課題解決および地域の明るい未来を実現するために、信用金庫およびその顧客などの実施する事業に対して、最大 10 百万円の助成金が交付されるスキームであり、公益財団法人日本財団、信金中央金庫、一般社団法人全国信用金庫協会、学識経験者の諮問会議による審査を受け、交付が決定されるものです。

### 4、当金庫取組みへの助成金決定の経緯

平成 29 年度第 2 次募集（平成 29 年 7 月 1 日から平成 29 年 7 月 31 日まで）において、本事業への助成金交付が決定されました。事業実施期間は 3 年間（平成 29 年 9 月 29 日から平成 32 年 9 月 28 日）で、日本財団の助成金を活用して本事業のスキームを構築し、アクティブシニアの会員登録数と課題のある企業への支援実績を増やしていく中で本事業の定着を図ります。3 年後以降は助成金終了を前提とした事業として継続していきます。

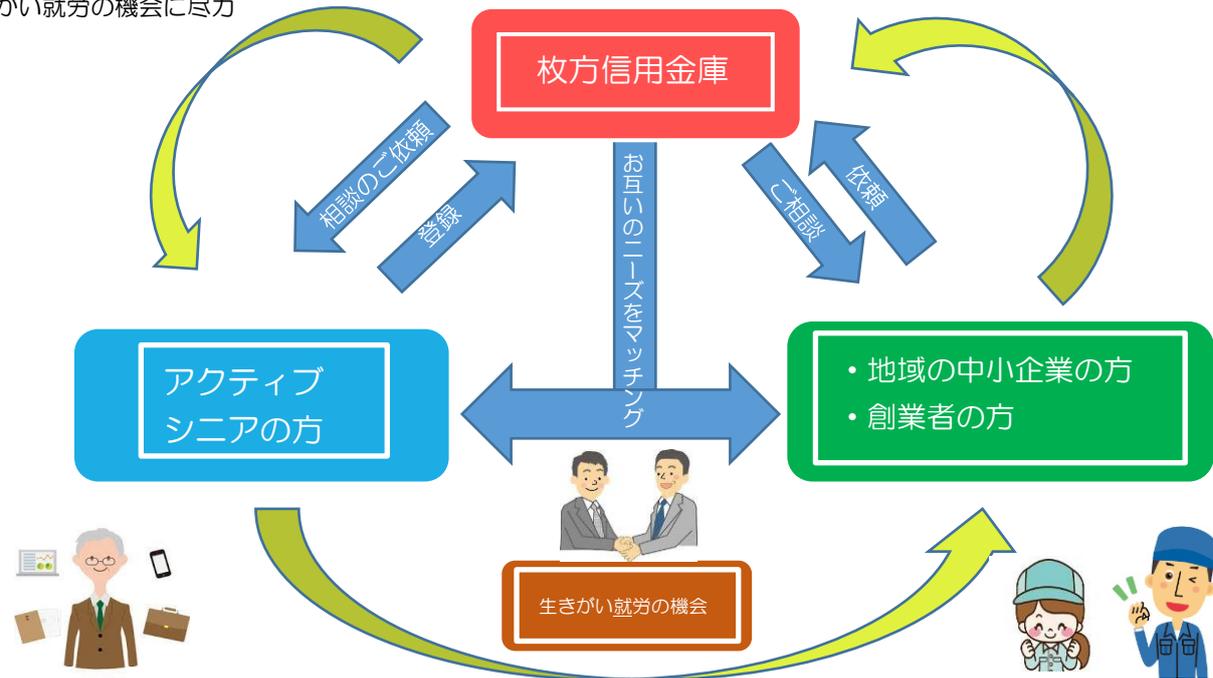
### 5、事業内容



# アクティブシニア事業の仕組み

・アクティブシニアの  
生きがい就労の機会に尽力

・活性化に伴い預金・融資等が増える



・地域の中企業、創業者の方の産業活性化に協力

## 企業ニーズの聴き取り

当金庫職員が中小企業の方の経営課題や相談ニーズを聞き取ります。

## アクティブシニアの募集

経営課題や相談ニーズから支援を希望するアクティブシニアとマッチング。

## 個別相談

具体的な相談を開始（アクティブシニアの方と当庫職員が訪問します）

<記者会見：記念撮影>



- 枚方市 産業文化部 部長 松宮様
- 日本財団 経営企画部 部長 荻上様
- 枚方信用金庫 理事長 吉野
- 信金中央金庫 大阪支店 理事支店長 室谷様

<本件に関するお問い合わせ先>

枚方信用金庫 地方創生推進部（小西まで） Tel072-841-1191